



8月の予定



2021年7月9日

野毛山幼稚園

月主題 月のねがい

今月の聖句

憐れみ深い人たちは幸いである。
その人たちは憐れみを受ける。

マタイによる福音書5章7節

「憐れみ深い人々」とは、思うだけでなく具体的な行動ができる人。自分の周囲にいる、自分が助けるべき「最も小さい人の一人」に気づく感性を持っている人。隣人を見出し、隣人となることができる人。聖書の中にイエスさまが語られた次のような話があります。ある人が旅に出ました。途中の道で強盗に襲われ、荷物も着物もすべて奪われてしまいました。そこに祭司、そして次にレビ人(神殿で奉仕する人)が通りかかりましたが、見て見ぬふりをして行っていました。やがて、また誰かが近づいてきましたが、旅人は「ああ、だめだ」とがっかりしました。それは、ユダヤ人と仲が良くなかったとされていたサマリア人だったからです。助けてくれるはずがありません。ところが、サマリア人は倒れている旅人を見つけると近づいていき、介抱をしてあげて、それから自分のろばにのせて、宿屋に連れて行って宿屋の主人に言いました。「この人の世話をしてください、お金が足りなければ、私が帰りに払います。」と。イエスさまは「自分のようにほかの人を大事にしたのは誰ですか?」と聞きました。何をすればよいかを知っていたのに、祭司もレビ人も実行しませんでした。憐れみ深い人とは、思うだけでなく、具体的な行動ができる人、自分の周りにいる、自分が助ける「最も小さい人の一人」に気づく感性を持っている人、隣人を見出し、隣人となることができる人です。隣人になるとは、敵意を乗り越えることです。イエスさまは、私たちに本当の幸いを作り出そうとしてくださっています。

主題	年少スイトピー組	年中コスモス・年長アネモネ組
祈り合う	普段とは違う経験もある中、いつでもどこでも神さまのお守りがあることを感じる。	神さま・イエスさまが平和をくださり、私たちに平和をつくりだすことを望まれていることを知り、祈り合う。
	木陰の心地良さや水遊びの後に汗がひいて涼しくなる感触を味わう。	暑さの中、夏ならではの遊びを喜び、楽しさにも難しさにも心をかよわせて過ごす。



予 定

日	曜	予 定	備 考
26	木	緑陰保育	午前中保育
27	金	緑陰保育	
30	月	のげやまフェスティバル	オンライン

こひつじ 23日(月)～ 30日(月)は除く



年 少(スイトピー組)	年 中(コスモス組)	年 長(アネモネ組)
規則正しい生活をおくる。	規則正しい生活をおくる。	規則正しい生活をおくる。
できることは自分でするようにする。	自分でできるお手伝いを続ける。	自分でできるお手伝いを続ける。
食事の前にお祈りをする。	お祈りの生活をする。	お祈りの生活をする。
公共でのマナーを知って守る。	食前のお祈り 一日の終わりの祈り…	食前のお祈り 一日の終わりの祈り…
はじめてのこともやってみる。	公共のマナーを守って過ごす。	公共のマナーを守って過ごす。
緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。	さまざまな経験を通して感性豊かな生活をおくる。	さまざまな経験を通して感性豊かな生活をおくる。
園生活のリズムを取り戻す。	緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。	緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。
	園生活のリズムを取り戻す。	園生活のリズムを取り戻す。

八月や、六日、九日、十五日
はちがつや、むいか、このか、じゅうごにち
広島原爆の日 長崎原爆の日 終戦記念日



毎年この川柳を紹介しています。8月は日本にとって「平和」について考えなくてはならない時です。新型コロナウイルスの影響もあり、人々はストレスもたまり、犯罪も増えています。信じられないような事件や事故が毎日のように起こり、大切な命が奪われています。辛さに耐えられず命を落とす人もいます。真の平和はいつ実現するのでしょうか。私たちは本当に小さなものですが、あきらめず、希望をもって、私たちのできることをしていきましょう。戦後76年。戦争を体験した方も少なくなり、戦争の悲惨さを知らない世代が多くなってきています。再び戦争をする国になってしまうのではないかと心配もあります。おとなも子どもも戦争の悲惨さにふれる機会を大切にしたいと思います。

◇「平和」ってなんだろう…

それぞれの年齢に応じて考え、具体的にどうしたらよいか、身近なことで考える機会を持ちましょう。

仲良くする お友だちのことを考える 嫌な気持ちになることを言ったり、やったりしない…等

◇神さまからいただいた「いのち」を大切に思う

◇平和に安心して暮らせないお友だちがいることを知る。